

競技注意事項

1 競技規則について

- (1) 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
- (2) 引率責任者は団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（地方公務員法第22条の2に示された者）も可とする。
- (3) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

2 競技者の招集について

- (1) 競技者招集所は、競技場正面玄関外側の100mスタート方向に設置する。

(2) 招集時間

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技 予選	競技開始60分前	競技開始20分前
トラック競技 準決・決勝	競技開始30分前	競技開始15分前
リレー競技 予選・決勝	競技開始30分前	競技開始15分前
フィールド競技	競技開始90分前	競技開始60分前

(3) 招集の手順

- ① 競技者または代理人が招集所の競技者係から確認（招集）を受け、各競技の場所で最終点呼を受ける。
- ② 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。
- ③ 混成競技の招集は、両日共に第1種目は競技者または代理人が招集所の招集用紙に○印をつける。第2種目以降は、混成控室（トレーニング室 B）で点呼（トラック競技 20分前、フィールド競技 40分前）を受け現地へ移動する。棄権する場合も必ず現地で申し出る。
- ④ リレー競技に出場する選手（4名全員）は、招集時刻内に招集所にて招集を受ける。ただし、その時間に他種目に出場の選手がいる場合は、その旨を招集時に競技者係に申し出ること。
- ⑤ 棄権をする競技者は、棄権届用紙（招集所に準備）に記入し招集開始時刻までに招集所に提出すること。
- ⑥ 選手変更をする学校は、選手変更届（本部に準備）に記入し、本部にて受付印（総務）をもらい、記録室で訂正後、招集所に提出すること。
- ⑦ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ⑧ リレーのオーダーについては、メンバー及びオーダーの変更の有無に関わらず、各ラウンド毎に招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙（招集所に準備）を招集所競技者係に提出すること。また、招集は規定通りに受けること。オーダー用紙の提出後は変更できない。怪我等の特別な理由がある時は本部へ申し出る。大会のドクターかトレーナーの診察を受け、変更を認めることがある。招集時間完了後は変更できない。
- ⑨ リレー種目で大会ドクターかトレーナーからの診断を受け変更を認められ不出場になった選手は、翌日以降に大会へ参加する場合、再度、大会ドクターかトレーナーの診断を受け、出場する事が出来る。
- ⑩ リレーのエントリー以外からリレー出場の場合は、オーダー用紙の氏名の右にエントリーした他種目名を記入すること。

3 アスリートビブスについて

- (1) 出場者はアスリートビブスを胸部と背部につけて出場しなければならない。
- (2) トラック競技者は、招集所で競技者係から渡された腰ナンバーカードを右腰やや後方につけること。
- (3) 跳躍競技の出場者は、胸部または背部のいずれかを除いてもよい。

4 競技について

- (1) 当該競技に参加する競技者以外は、競技場内に立ち入らないこと。
- (2) スパイクシューズのピンの長さは、トラック種目及び跳躍種目（走高跳除く）は9mm以下、走高跳及びやり投

は12mm以下とし、全天候型走路専用ピンに限る。

3000mSCに出場する選手は、必ずスパイクを履いて参加すること。

- (3) トラック競技において、欠場者のレーンは、そのまま空けておく。
- (4) トラック競技において、セパレートレーンを使用する種目については、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- (5) 男女800m予選は、1レーンに2名のセパレートレーンで行う。
- (6) 長距離・競歩種目については、気象の状況により給水を設けることがある。
- (7) 4×400mリレーの第3・4走者は、競技役員の指示に従い前走者が200m地点を通過した順位で内側から並んで待機する。その後に順位に変動があっても位置を変えてはならない。尚、バトンを受け渡した後の走者は、後続の他チーム走者の走路を妨害しないように留意すること。
- (8) リレーに出場のチームは、原則同一のユニフォームを着用する。ただし服装に関しては、色やデザインが同様に同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用してもよい。
- (9) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。ただし、気象条件等により変更することもある。棒高跳と混成競技は、現地で確認する。

男子走高跳	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.88	(以降3cm刻み)		
女子走高跳	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	(以降3cm刻み)		
男子棒高跳	2.50	2.70	2.90	3.10	3.30	3.50	3.70	3.80	(以降10cm刻み) 最初の高さの申告可
女子棒高跳	1.80	2.00	2.20	2.40	2.60	2.80	2.90	(以降10cm刻み) 最初の高さの申告可	
男子八種走高跳	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.68	(以降3cm刻み) 最初の高さの申告可		
女子七種走高跳	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.43	(以降3cm刻み) 最初の高さの申告可		

- (10) 投擲競技は気象条件により記録測定ラインを設定することもある。
- (11) 投擲競技に出場する競技者は、役員の指示に従い、事故防止に十分に注意すること。
- (12) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することはできない。
- (13) 投擲競技者や跳躍競技者で滑り止めを使用する選手は各自準備する。
- (14) 次の種目は制限時間を設ける。

男子5000m	18分30秒	女子3000m	13分	男子3000mSC	12分
男子5000mW	35分	女子5000mW	40分		

5 競技の抽選及び番組編成について

- (1) トラック種目における準決勝・決勝へのプラス進出者については、該当競技者の最下位に同記録が複数出た場合、写真判定により写真を拡大し「着差あり」まで判定する。それでも決まらない場合は「同着」とし抽選する。ただし1500m以上の長距離種目での同記録者は、全員次のラウンドへ進むことができる。
- (2) 抽選は、本部の番組編成席で行う。抽選のアナウンス後5分経過しても該当競技者が番組編成席に来ない場合は本部が代理で行う。

6 トラック競技のB決勝について

- (1) 下記(3)の種目以外のトラック競技（競歩競技を除く）については、1～8位決定の決勝（A決勝）の他に、県大会出場権（9～14位）決定のためのB決勝を行う。
- (2) B決勝の進出について
 - ① 準決勝がある種目は、A決勝進出者以外から準決勝記録の上位8名
 - ② 予選のみの種目は、A決勝進出者以外から予選記録の上位8名
- (3) 次の種目については、決勝（タイムレース決勝）で9～14位を決定する
男女1500m、女子3000m、男子5000m、男子3000mSC
- (4) 上位14位までに失格などが出た場合は、15位以降を繰り上げて県大会出場権を与えることがある。

7 フィールド競技の9～14位決定について

- (1) 予選試技（3回）でトップ8を除く上位記録者から9～14位とする
- (2) 上位14位までに失格などが出た場合は、15位以降を繰り上げて県大会出場権を与えることがある。

8 競技用具について

- (1) この競技会で使用する用器具は、主催者で用意した競技場備え付けのものを使用しなければならない。
- (2) 棒高跳用ポールは個人持参の物の使用を認める。男女やりについては、個人持参の物を主催者で検査のうえ使用を認める。ただし、共通使用とする。
- (3) 検査は、用器具倉庫（第4ゲート外側）付近にて時間（通告する）を決めて行う。

9 練習について

- (1) フィールド種目の練習は、招集後に本競技場内で行う。
- (2) 投てき練習場での練習は、ハンマー投のみ5月15日(金)の9時まで認める。投てき練習場へは、関係者以外は立ち入らないこと。ハンマー投は、本競技場で公式練習を2回行う。
- (3) 練習については事故防止のため、すべて競技役員の指示に従うこと。
- (4) 雨天練習場は使用できるが、一方通行で使用すること。
- (5) 補助競技場でメディシンボールなどの投てき物を使った練習は禁止する。

10 表彰について

- (1) 表彰は行わない。個人種目は第3位までの入賞者に賞状を渡す。各校顧問は本部に受け取りに来る。
- (2) 学校対校は総合の部・トラックの部・フィールドの部のそれぞれ第3位までを表彰する。各校顧問は本部に受け取りに来る。
- (3) 入賞者の得点は、1位8点、2位7点、以下6・5・4・3・2・1点とする。

11 県大会について

- (1) 本大会第14位まで（一部繰り上げ出場の可能性あり）の選手は、県大会（5/29～31 博多の森陸上競技場）の出場資格を得る。また、走高跳、棒高跳は14位まで（一部繰り上げ出場の可能性あり）の選手14名とする。競歩と混成は11位まで（一部繰り上げ出場の可能性あり）が県大会への出場資格を得る。
- (2) 県大会出場資格校は、大会本部で必要書類を受け取り所定の手続きを行う。「仮申し込み書」は本大会終了後速やかに（大会中でも可）大会本部へ提出する。なお、正式申込書等については県高体連のホームページよりダウンロードし、5月20日（水）必着で専門委員長（筑紫高校 笠原）宛送付すること。
- (3) 混成競技の県大会出場者は、「仮申し込み書」に走高跳の最初の高さの希望を記入すること。
- (4) 県大会参加負担金は、出場者1名につき500円。後日、高体連から当該校へ請求される。

12 その他

- (1) 記録については速報・通告をする。
- (2) 各校の控え所については、譲り合って使用し、必要以上の広さを確保専有しないこと。
- (3) 各校の控え所の目印等で、紙のガムテープを床に貼らないこと。養生テープを使用すること。
- (4) 各校の応援用横断幕・のぼりは、サイド・バックスタンドの中段以上とし、スタンドの一番下には張らないこと。のぼりはメインスタンド最上段に掲示してもよい。
- (5) フィールド競技を行っている際のその付近での応援は禁止する。
- (6) 更衣室は更衣のみに使用し、私物は一切置かないこと。競技終了後は速やかに更衣室を出ること。
- (7) ゴミについては、各学校で責任を持って持ち帰ること。
- (8) ビデオ等を見せる場合は、コーン等で指定されたエリア（安全且つ競技運営に支障のない場所）で各チームが準備したひもやかご等の道具を使って録画機器を受け渡しすることができる。ただし、安全には十分配慮すること。また、機器の破損等が生じた場合、主催者は一切の責任を負わない。なお、機器の投げ渡しや身を乗り出しての危険な状態での受け渡しは認めない。